令和７年　学校の部活動に係る活動方針（明道中学校）

ねらい

部活動は、生徒の主体性や社会性、豊かな人間性を育むうえで大切な教育活動であるとの考えにより、適正な活動計画のもと、合理的かつ効率的な運用により、積極的に推進する。

生徒の実態

自主性、主体性がある生徒が少ないため、部活動を通して、その育成を目指す。

設置部活動

文化部

吹奏楽

合唱

情報科学

美術

運動部

野球、卓球、ソフトテニス

バレーボール、陸上

サッカー

バスケットボール

バドミントン

指導力向上

競技や活動の特性を踏まえた合理的で効果的な指導が実践できるよう、部活動の予定を共有したり、部活動顧問の研修の機会の保障に努める。

体罰等の防止

生徒の人格を傷つける言動や、体罰はいかなる場合も許されないことを、あらゆる機会を通じて徹底をはかる。

活動計画・時間

部活動における休養日および活動時間については、生徒が運動や活動と休養や睡眠等との、バランスがとれた生活を送ることができるよう、以下を基準とする。

〇年間を通じて、週あたり平日に１日、土日に１日以上の休養日を確保することを原則とし、大会日程等を考慮しながら、土、日、祝日において、年間５２日以上の部活動休養日を確保する。また週末の活動状況、考査日程等を考慮しながら、バランス良く平日の休養日の確保に努める。

〇通常練習日の１日の活動時間は平日２時間程度、土日は３時間程度とし、効率的で効果的な活動を行う。

〇熱中症対策として、
夏休みの活動時間は、7:30～10:30 の最大３時間までとする。また、WBGT 指数が、３１以上になった場合は、直ちに活動を中止する。

外部指導者との連携

外部指導者の適材配置により、効果的な部活動指導と顧問の負担軽減を目指す。

業務改善に向けた取り組み

毎月の活動計画や活動実績の確認等により活動内容を把握し、教職員の負担が過度とならないような、持続可能な運営体制が整えられているか等について指導、是正を行う。

保護者の願い

積極的な部活動参加により、規則正しい生活習慣の確立と、部活動を通しての社会性や人間性の伸長を期待している。

危機管理体制

部活動の共同管理を含め、安全対策に最優先に取り組むとともに、緊急時の対応について共通認識を図り、事故発生時の対応を適切に行う。

部活動における感染症対策

感染の状況に応じて衛生管理マニュアル等に基づき感染症対策を行う。